

川口市立戸塚西中学校学校だより 10月号



たいさんぼく

～花と緑と心ふれあう学び舎～

住所: 川口市西立野 1000

TEL: 048-298-0088 FAX: 048-298-0093

さわやか相談室 TEL: 048-298-0426

令和元年 10月1日(月)発行

最近感じていること

校長 中根 隆弘

2学期がスタートしたと思ったら、はや10月、これまで2年生の水上自然教室、全校を挙げての体育祭、そして、ただいま市民体育祭真っ只中と慌ただしくも充実した教育活動が進められております。改めて、保護者、地域の皆様のご支援・ご協力をいただいていることで、生徒たちが勉強に行事に充実した学校生活を送れていることに感謝を申し上げる次第です。

さて今回は、ここ最近感じていることを2つほど書き綴ってみました。

1つめは、我々は令和元年度の折り返し地点にいるということです。早いもので年度の半分か過ぎました。こうした節目を何となく素通りするのではなく、これまでの自分を振り返り、そして今後の目標や決意を新たにす、そのような思いや考えをめぐらすことがとても大切です。生徒の皆さん、これまでの生活を振り返ってみましょう。何ができましたか？ 何ができませんでしたか？ それらを踏まえてこれからどうしていきますか？ この節目の時、ちょっと立ち止まって考えてみてください。そして残り後半、顔を上げて力強く歩んでいきましょう。

2つめは、人は『助け助けられ』今を生きている、ということを改めて実感していることです。

皆さんもこんな経験がきっとあるはずです。困ったことが起きてしまい勇気をもって声を発したら、誰かが救いの手を差し伸べてくれたり、逆に周りから声をかけてきてくれたり……。これは私の実体験なのですが、とても困った状況があつて途方に暮れていたら、たまたま最近知り合った人から別件で連絡が入り、実はその人が、その困った状況を解決してくれるキーマンだったという神がかつたような感動的な偶然に遭遇しています。ここ最近の話では、本校のある部活動が休日に自転車で移動中、生徒の一人がパンクをしてしまい立往生していたら、軽トラックでたまたま通りかかった一般の男性の方がパンクした自転車を目的地まで運んでくれ、たまたま通りかかった本校の保護者の方が生徒本人を目的地まで送り届けてくれたといったこともあります。

また、3年生の校長面談が始まっていますが、すべての生徒に「学校は楽しいですか。」と問いかけ「楽しい」と答える生徒に「どんなところが楽しいですか。」と聞くと「周りの人が優しい」といった旨の返答が多く生徒から寄せられます。最高に嬉しいですね。まだ面談が始まって2、3クラスといった中での話ですが、きっと他の3年生も、そして2年生も1年生も、そんな雰囲気が各クラスにあるのだろうと私は信じています。自分は周りの優しさに助けられている、そして自分も優しさをもって周りの人を助けている、こうした『助け助けられ』が我が戸塚西中には息づいていると実感しました。

私も、この半年間、周りに支えられ助けられてここまですることができました。戸塚西中に関わるすべての人たちに感謝の思いで一杯です。そして、その感謝の思いが大きな『信頼』となって私の心に息づいていることを感じています。

私は確信します。『助け助けられ』の奇跡は『信頼』によって生み出されるということ……。助け助けられることでお互いの存在に感謝する……。そして信頼の輪がさらに広がる……。そのような温かい学校へ、素晴らしい学校へ、今後ますますなっていくことを願ってやみません。